

日 ASEAN におけるアジア DX 促進事業(第一回)
シンガポール民間クリニックにおける「AI 問診」実証実験事業
Ubie 株式会社

1. 本事業の背景及び目的

シンガポールにおける高齢人口比率の上昇や高度医療が必要な疾患の割合の上昇による医療費支出の増加を背景に、シンガポールでは医療費支出抑制が大きな課題となっている。

シンガポールの現地医療機関における「AI 問診ユビー」活用が、診察時間短縮や院内オペレーションの業務効率化、診断の質向上を実現し、シンガポールが抱える医療費支出の増加という課題の解消に貢献し、事業化が成立することを検証する。

2. 本事業の概要

シンガポールの現地医療機関にて、「AI 問診ユビー」「AI 受診相談ユビー」活用の PoC を実施することで、以下の 4 項目を実現できることを検証した。

- (1) 症状・重症度等に応じて、患者の最適な行動選択を促す(受診行動最適化)
- (2) 事前問診による診察時間の短縮(回転率向上)
- (3) 事前問診による診断の質向上
- (4) 院内オペレーションのデジタル化による業務効率の改善

3. 成果および考察

- (1) 「AI 問診ユビー」「AI 受診相談ユビー」はシンガポールにおいても業務効率化等の一定の導入効果を生み、医療機関・医師の満足を得られることを確認した。
- (2) 一方で、現地特有の患者特性や院内オペレーションが存在することも判明し、今後の機能改善・導入オペレーションの改善による適応が必要であることがわかった。

4. 今後の活動

- (1) シンガポールでの実証事業を起点に、アジア太平洋地域及び米国マーケットでの事業化を推進する。
- (2) 「AI 問診ユビー」「AI 受診相談ユビー」プロダクトの現地ニーズ、医療提供体制などに沿ったローカリゼーション開発を進める。